

理念と基本方針（案）について

取り組むべき課題の解決に向けた理念・基本的方針（案）の検討

取り組むべき課題

①持続可能な地域公共交通網の構築

<施策イメージ>

- ・ 選択と集中によるバス路線網再編（幹線・支線の明確化）等によるバス路線の維持
- ・ コミュニタクシー、タクシー等をはじめとした、地域の多様な交通資源の利活用によるラストワンマイル移動手段の確保
- ・ 次世代モビリティ等新たな移動手段の導入検討
- ・ 自動運転技術等、人口減少・少子高齢社会においても持続可能な運行方法の検討

②地域の多様な移動手段のネットワーク化

<施策イメージ>

- ・ 案内の充実、ユニバーサルデザインの推進、MaaS等の最新のデジタル技術活用等、ハード・ソフト両面から乗り継ぎ環境を向上
- ・ 倉敷駅、児島駅等における交通結節機能の強化（多様な移動手段の乗り換え拠点）

③利用者ニーズに寄り添ったサービスの提供

<施策イメージ>

- ・ 運行計画見直しによるピーク時間帯の増便検討
- ・ 待合環境の改善・高度化等による、誰もが利用しやすい移動環境の構築
- ・ バスの定時性確保に向けた、PTPSや専用走行レーン等の導入検討
- ・ 車内の混雑情報の提供等、ニューノーマルに対応した交通サービスの提供

④交通施策とまちづくり施策との連携強化

<施策イメージ>

- ・ まちづくり施策（人口・施設配置等）を踏まえた交通施策の検討

⑤利用促進に向けた効果的なPR・情報発信

<施策イメージ>

- ・ 公共交通の利用状況等に関する情報発信（広報誌、HP、SNSの活用等）
- ・ モビリティ・マネジメントや出前講座等の実施による公共交通のPR・利用促進

⑥災害発生時等における協力体制の構築

<施策イメージ>

- ・ 市民の避難行動や復興支援への活用等

地域公共交通のあるべき姿

✓ 公共交通不便地域を解消し、誰もがいつでも手軽に利用できる、市民にとって身近な公共交通であること。

✓ 公共交通で地域間が結ばれ、市内のどこへでも公共交通を利用してアクセスできる環境であること。

✓ ユニバーサルデザインの推進等により誰もが利用しやすい、快適・便利な公共交通であること。

✓ まちづくりを支え、安全・安心な暮らしに資する公共交通であること。



取り組むべき課題の解決に向けた理念・基本的方針（案）

理念

地域をつなぎ **暮らし**を支え **快適・便利**で 市民に**身近**な 地域公共交通

- ✓ 地域の多様な交通資源のポテンシャルを最大限引き出すことで、誰もが公共交通を身近に感じられる“まち”を目指します。
- ✓ 市内の各地域をつなぎ、活発な交流を生み出すことで、市民の豊かで安全・安心な暮らしを支え、まちの更なる魅力向上を目指します。
- ✓ 行政・交通事業者・市民のみなさま等、あらゆる関係者が協力して、快適・便利な地域公共交通をみんなで守り・育てていきます。

基本方針Ⅰ | 誰もが手軽にいつでも利用できる地域公共交通

既存の公共交通機関や地域の多様な交通資源の活用により公共交通不便地域を解消し、誰もがいつでも手軽に公共交通を利用できる環境を目指します。

目標 1 都市の骨格を形成する幹線交通のサービスレベルの維持・向上

目標 2 地域の多様な資源等の活用による持続可能な移動手段の導入

基本方針Ⅱ | 地域をつなぎ交流を生み出す地域公共交通

ハード・ソフトの両面から地域の多様な移動手段をネットワーク化し、市内のどこへでも公共交通を利用してアクセスできる環境を目指します。

目標 3 主要駅等における交通結節機能の強化

目標 4 最新のデジタル技術等を活用したシームレスな乗り継ぎ環境の実現

基本方針Ⅲ | 市民の安全・安心な暮らしを支える地域公共交通

コンパクト・プラス・ネットワークや低炭素まちづくりを支えるとともに、有事の際にも効果的に活用可能な、安全・安心で快適な暮らしに資する地域公共交通の構築を目指します。

目標 5 公共交通を活用したコンパクト・プラス・ネットワークの実現

目標 6 まちなかでの市民の活発な交流によるまちの賑わい創出

目標 7 災害発生時における公共交通の効果的な活用

基本方針Ⅳ | 市民に愛される便利で快適な地域公共交通

ユニバーサルデザインの推進等により誰もが利用しやすい移動環境を構築し、満足度・質の高い交通サービスを提供するとともに、効果的なPR・情報発信により公共交通の利用促進を目指します。

目標 8 関係者や地域との協働による選ばれる公共交通サービスの提供

目標 9 誰もが安心して公共交通を利用するための情報発信

理念・基本的方針（案） 現行計画との対比

	【新計画】 倉敷市地域公共交通計画	【現行計画】 倉敷市地域公共交通網形成計画
理念	地域をつなぎ 暮らしを支え 快適・便利 で 市民に 身近 な地域公共交通	暮らしを支え 活気をつなぐ 倉敷の 魅力 を高める公共交通 網
基本 方針	I 誰もが手軽にいつでも利用できる地域公共交通 既存の公共交通機関や <u>地域の多様な交通資源の活用</u> により <u>公共交通不便地域を解消</u> し、誰もがいつでも手軽に公共交通を利用できる環境を目指します。	「網」都市の骨格を形成する公共交通 都市の骨格を形成する幹線交通の利便性を高め、公共交通によって地域・地区拠点間の移動がしやすい環境を構築します。また、そうした骨格のつなぎ目となる拠点の機能を強化し、乗り換えや待合環境などの利便性・快適性を高めます。
	II 地域をつなぎ交流を生み出す地域公共交通 <u>ハード・ソフトの両面から地域の多様な移動手段をネットワーク化</u> し、市内のどこへでも公共交通を利用してアクセスできる環境を目指します。	「暮」市民に愛され暮らしを支える公共交通 市民や地域企業、交通事業者、行政との協働により、市民に愛される持続可能な公共交通を構築します。また、地域・地区内の移動がしやすい環境を整備し、誰もが安心して暮らすことのできる環境を構築します。
	III 市民の安全・安心な暮らしを支える地域公共交通 <u>コンパクト・プラス・ネットワーク</u> や低炭素まちづくりを支えるとともに、有事の際にも効果的に活用可能な、安全・安心で快適な暮らしに資する地域公共交通の構築を目指します。	「活」都市に豊かさや活気を生み出す公共交通 公共交通が利用しやすいサービスの提供や環境整備により、歩いて楽しいまちづくりや都市の活力醸成に寄与する公共交通を構築します。
	IV 市民に愛される便利で快適な地域公共交通 ユニバーサルデザインの推進等により誰もが利用しやすい移動環境を構築し、満足度・質の高い交通サービスを提供するとともに、効果的なPR・情報発信により <u>公共交通の利用促進</u> を目指します。	「魅」国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通 来訪者が快適に利用できる環境を提供する「おもてなしの公共交通」を構築します。また、市内・市外を問わず多くの人へ、倉敷市の各地域・地区が有する魅力を発信する公共交通を構築します。